TERUMO®

メディセーフ フィット®

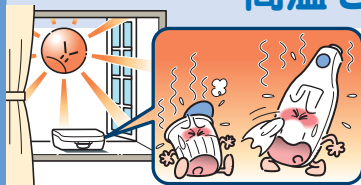
取扱説明書 とらのまき

- 本書をよくお読みのうえ、医師の指導のもと、正しく安全にご使用ください。
- 本書は、いつでも見ることができるところに保管してください。
- 薄紫色フィルムの測定用チップ(メディセーフフィットチップ)を使用してください。緑色フィルムの測定用チップ(メディセーフチップ)は使用できません。

ご使用者のお名前

______________________ 様

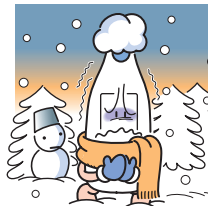
知っておきたい大切な注意事項

特に夏場の保管は直射日光・高温を避けて

直射日光を避けて保管してください。
また、測定用チップは室温（1～30℃）で保管してください。

特に注意が必要なのは、直射日光が当たる窓際や、車の中などです。高温での保管は測定用チップ（試験紙）が劣化して正しい測定値が得られないおそれがあります。

測定用チップと血糖計が、適切な環境で保管されない状態で測定すると、正しい測定値が得られない場合があります。

特に冬場の測定では、その場の温度になじませて

冬場に血糖値を測定するときは、測定用チップや血糖計をあらかじめ測定場所（5～40℃）に20分ほど置いて、その場の温度になじませてからご使用ください。

（ただし暖房の噴出し口付近に置いたり、ドライヤーなどによる加熱はしないでください）

暖房器具に近づけすぎないでください。

測定用チップと血糖計が、測定する場所の温度になじんでいない状態で測定すると、正しい測定値が得られない場合があります。

必ずお守りください

⚠警告

●お使いになる前に、この取扱説明書(とらのまき)をよくお読みのうえ、
必ず医師の指示に従って正しくご使用ください。

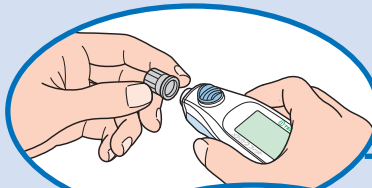
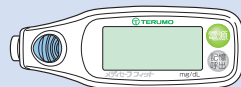
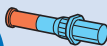
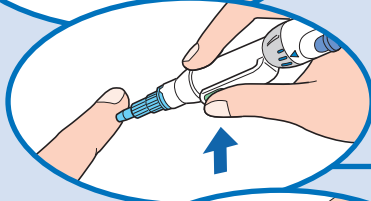
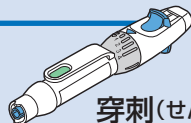
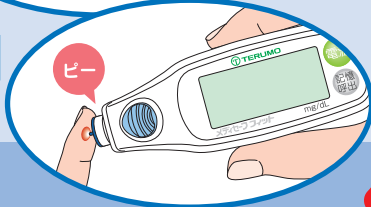
●測定した結果について
疑問を感じたときは、必ず医師に相談してください。

血糖自己測定は、糖尿病の患者さんが自分で血糖値を測定・記録し、医師に変化を知らせることで、よりよい治療に役立てるための大切な検査です。

●糖尿病の
治療管理は、必ず医師の指導のもとで行ってください。

特に、経口薬、インスリンの量や回数は、本人や家族、介護者の判断で変えないでください。

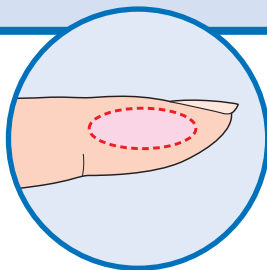
●もしものために、医師の連絡先を確認しておきましょう。

病院名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ TEL ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

穿刺(せんし)
採血や注射などのために、手指などに針を刺すこと。

詳しい使用方法は、この後の手順説明をよくお読みください。

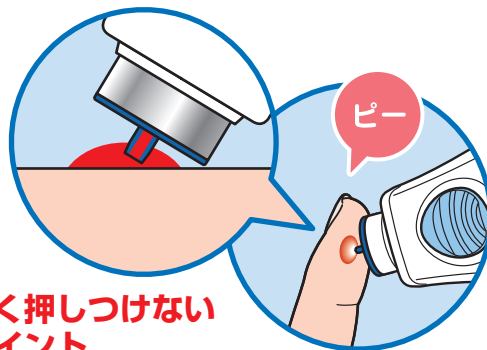
ご使用上のポイント

指先の側面を穿刺(せんし)

左右どちらの手でも、どの指でも測定できます(23ページ)。

血液の大きさは約2.5ミリ

血が出にくいときは、穿刺(せんし)の深さを調節できます(21ページ)。

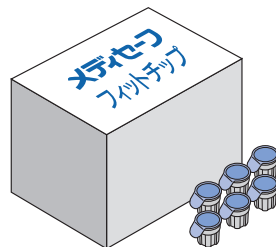
血液を吸引するときは皮膚に軽くつける

『ピー』と音が鳴ったら、先端を血液から離します。

皮膚に強く押しつけないことがポイント

必要なものがそろっていますか？

血糖値を測定するには「メディセーフフィット血糖測定セット」と、
別売の測定用チップ(メディセーフフィットチップ)が必要です。

メディセーフフィット
血糖測定セット

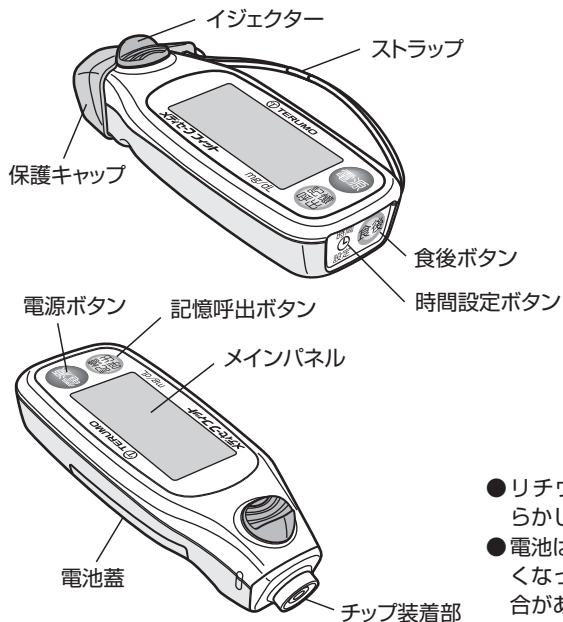
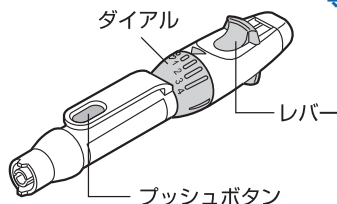
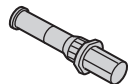
測定用チップ(別売り)
(30個入)

- 血糖計のみをお買い求めになった場合は、穿刺(せんし)ペン(ファインタッチ)、針(ファインタッチ専用)および測定用チップを別途お買い求めください。(63ページ参照)
- 針(ファインタッチ専用)および測定用チップの使用は1回限りです。

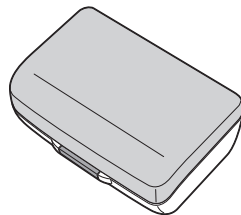
⚠注意

● 薄紫色フィルムの測定用チップ(メディセーフフィットチップ)を使用してください。緑色フィルムの測定用チップ(メディセーフチップ)は使用できません。

「メディセーフフィット血糖測定セット」には、次のものが入っています。

●血糖計

（あらかじめ日付、時刻を合わせてあります。はじめてご使用いただく際、時刻に誤差が生じているときは、合わせ直してください。55ページ参照）

●穿刺（せんし）ペン（ファインタッチ）

●針（ファインタッチ専用／30本）

●テスト用チップ（黒）

●携帯ケース

- ●リチウム電池（CR2032×2個）をあらかじめ内蔵しています。
- ●電池はモニター用ですので、電池がなくなっている場合や電池寿命が短い場合があります。（47ページ参照）

●取扱説明書（本書）
●添付文書

携帯ケースにおさめる

いつでも手軽に血糖自己測定ができ、お出かけの際にも便利です。

(収納例)

- 穿刺(せんし)ペン(ファインタッチ)、針(ファインタッチ専用)、測定用チップは別売りです。
- テスト用チップ(黒)は、通常使いませんが、なくさないように保管してください。(60ページ参照)

・添付文書では血糖計をグルコース測定器、穿刺(せんし)ペンを穿刺器具、針を穿刺針と表記している場合があります。

目　次

お手入れ方法／血糖値あれこれ

困ったときには

その他

注意文の表示内容について

本書では、表示内容に従わず、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を次の区分で表示し、説明しています。
表示内容に従わず、本来の目的から逸脱した使いかたにより、万一、死亡や重傷を負ったり、物的損害が発生しても、弊社は一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

⚠禁忌・禁止	絶対に行ってはいけないことを示します。 • 本品の性能を超える、または不適切な使いかたにより、死亡または重症を負う危険性があります。
⚠警告	特に注意していただきたいことを示します。 • 適正に使用しても、注意を怠ると死亡または重傷を負う可能性が想定されます。
⚠注意	使用にあたり、一般的な注意を示します。 • 誤って使うと、傷害を負う可能性、または物的損害※のみの発生が想定されます。 ※物的損害とは、家屋、家財、および家畜、ペットにかかわる拡大損害を示します。

メディセーフフィットをご使用の皆さまへ

⚠禁忌・禁止

- いちど使用した針は、絶対に再使用しないでください。感染の原因となります。
- 穿刺(せんし)ペンを保管するときは、針をはずしてください。穿刺の深さの調節が、正常に行えなくなることがあります。

⚠警告

- 採血の前には、必ず穿刺(せんし)する部位をアルコール綿などで消毒してください。感染の原因となります。
- 採血後は、必ず絆創膏などで止血してください。感染の原因となります。
- 血液や血液がついた器具、ティッシュペーパーなどは、他の人が触れないようにしてください。血液を介して感染する原因になります。
- 低血糖が疑われる場合は、指先(てのひらも可)から採血してください。この部分以外の部位(前腕部、上腕部など)から採血した場合は、測定した部位により測定値に差の生じることがあります。
- 子供の手の届かない場所に保管してください。電池、測定用チップ、チップケースおよびフィルムシールや乾燥剤などは、誤って飲み込む可能性があります。また針や穿刺(せんし)ペンを誤って使用し、針刺しする原因となります。

⚠注意

●血糖計や穿刺(せんし)ペン(ファインタッチ)は分解・改造しないでください。故障やケガの原因になります。

●血糖測定以外の目的に使用しないでください。故障やケガの原因になります。

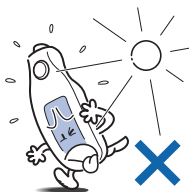
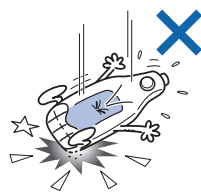
●使用期限を過ぎた針は使用しないでください。事故などの原因になります。使用期限は外箱に表示してあります。

●包装が破損、汚損している場合や、製品に破損等の異常が認められる場合は使用しないでください。
特に穿刺(せんし)ペンは故障した場合、針刺しする危険性があります。穿刺操作以外では針の先端に触れないようにしてください。

●血糖計や測定用チップはあらかじめ使用場所に20分以上置いておき、使用場所との温度差をなくしてから測定してください。

●温度5℃～40℃、湿度30%～85%の結露しない場所で測定してください。

血糖計について

●直射日光などの強い光が当たる場所で使用しないでください。光の影響で測れないことがあります。

●落としたり、ぶつけたりしないでください。故障の原因になります。また、自動車のダッシュボードなど、強い振動が伝わる場所に置かないでください。

⚠注意

血糖計について

●携帯電話、マイクロ波治療器など電磁波を発生する機器から1メートル以上離してください。近すぎると正しく作動しないことがあります。

●電池交換の際に、電池に油やホコリ等がつかないようにしてください。故障の原因になります。

●使用済みの電池は、他のゴミと一緒に捨てないでください。また火の中に投入しないでください。事故などの原因になります。

●電池交換のため電池を取りはずしている間は、血糖計内蔵の時計が止まります。電池交換後は、55ページをご覧になり、日付・時刻を合わせ直してください。

●血糖計を廃棄する際には、各自治体のルールに従って適正に処理してください。

測定用チップについて

●ケースが破損したり、汚れているもの、ケース外周のフィルムシールが破れているものは使用しないでください。

●使用期限を過ぎた測定用チップは使用しないでください。正しく測定できないことがあります。使用期限は箱およびケースのフィルムシールに表示してあります。

●いちど使用した測定用チップは、絶対に再使用しないでください。感染の原因となります。

使いかた

血糖値を測定する手順は、大きく次の5ステップに分かれます。
血糖計の取扱いに慣れるまでは、本書をよく読んで、間違いのないように操作してください。

5ステップの手順をお守りください。

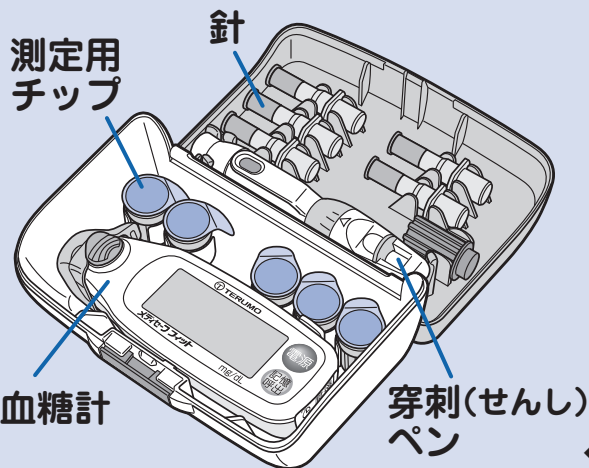
ステップ 1 準備する

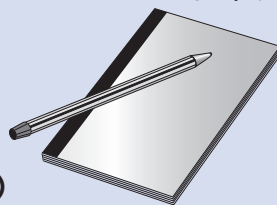
1 必要なものを準備する

測定用チップ

針

血糖計

穿刺(せんし)ペン

絵は収納例です。

消毒用にアルコール綿、ティッシュペーパーなど

自己管理ノート、筆記用具

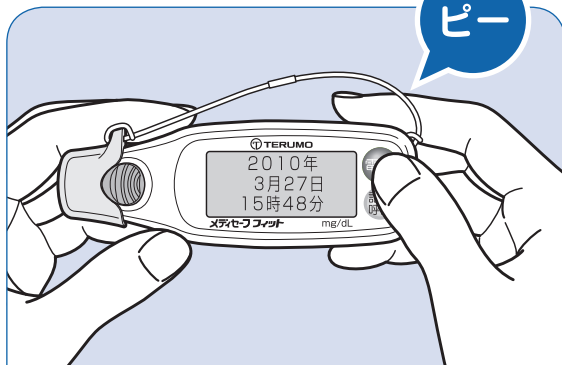
◆「自己管理ノート」の入手については、病院またはテルモ・コールセンターにご連絡ください。

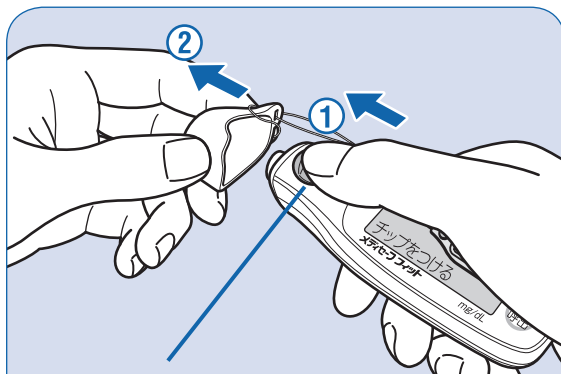
●あらかじめ手を清潔な状態にしてから、測定を始めてください。

ステップ 2

血糖計と測定用チップを使います

測定用チップをつける

1 [電源]を押す

現在の日付と時刻が表示されます。
それ以外の表示が出るときは、43～48ページをご覧ください。

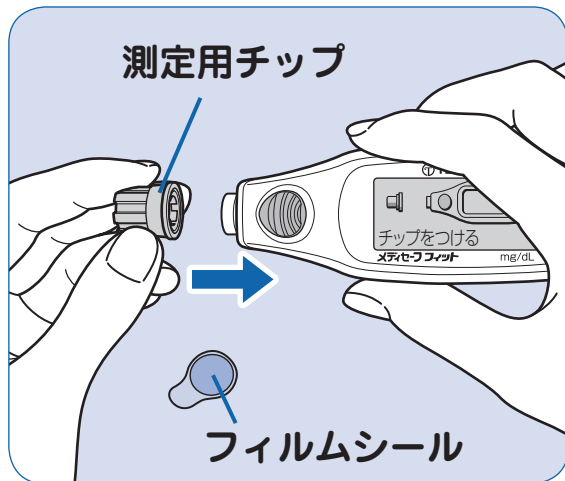
2 保護キャップをはずす

①イジェクターを前に押し出して
②保護キャップをはずす

③ 測定用チップのフィルムシールをすべてはがす

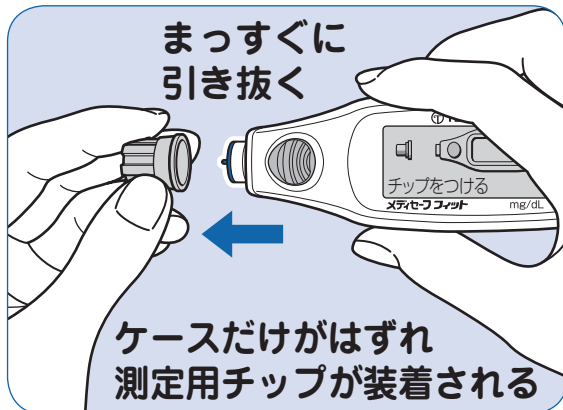
◆フィルムシールをはがしたら、すぐに使用してください。時間がたつと測定用チップが湿気をおびて正しく測定できないことがあります。

⚠警告

●チップケースは子供の手の届かない場所に置いてください。ケースや中の乾燥剤を飲み込むおそれがあります。

❹ 測定用チップを血糖計の先に押し込む

◆装着感(「カクッ」とはまる感じ)があるまで、まっすぐ奥まで押し込まないと正しく測定できないことがあります。

◆このとき、イジェクターには触れないでください。

⑤ チップケースを抜く

チップケースを捨てないでください。かたづけるときに必要です。

⚠注意

●測定用チップは開封後、すぐに装着して測定をはじめてください。

⑥「OK」(オーケー表示)が点灯する

ピピッ

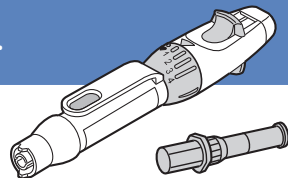
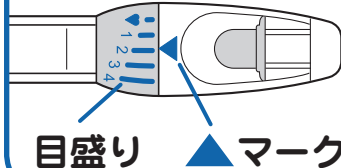
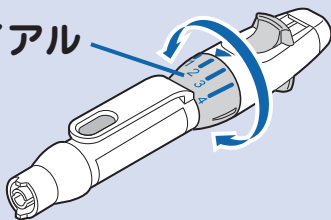
食後マーク
(36ページ参照)

『ピピッ』と鳴って
「OK」(オーケー表示)が点灯します。
できるだけ早く、測定してください。

◆表示が消えているときは[電源]を押してください。
◆別の表示が出るときは、43～48ページをご覧ください。
◆時間設定が表示された場合は、55～57ページをご覧ください。

ステップ 3

穿刺(せんし)ペンと針を使います

穿刺(せんし)する

① ダイアルを回し、穿刺(せんし)の深さを調節する

目盛りを選ぶときは、浅いほうから試す。

●目盛りの数字が大きいほど深く穿刺(せんし)されます。

●数字と数字の間では設定できません。必ず▲マークに目盛りをぴったり合わせてください。

⚠注意

●穿刺(せんし)ペンに破損等の異常がある場合は、使用しないでください。

目盛りを選ぶときの目安

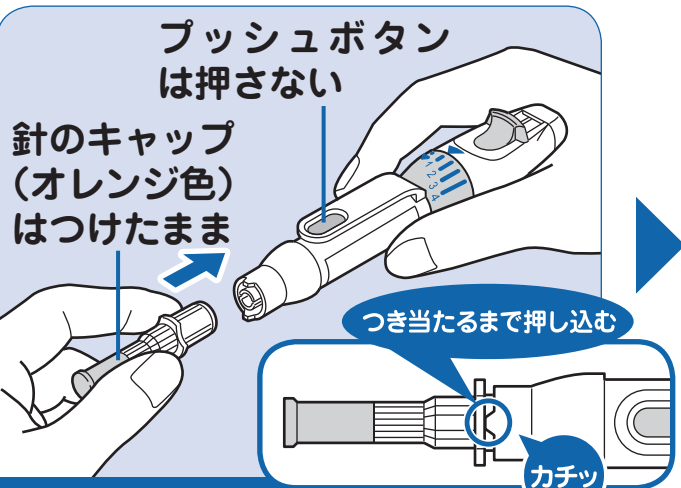
使いかた

❷ 針をつける

プッシュボタンは押さない

針のキャップ(オレンジ色)はつけたまま

つき当たるまで押し込む

カチッ

◆針は、専用の針(ファインタッチ専用)をご使用ください。
◆つき当たるまで押し込まないと、穿刺(せんし)できないことがあります。

◆キャップは捨てないでください。後で針を捨てるために、再度使用します。

誤ってプッシュボタンを押してしまった場合は24ページをご覧ください。

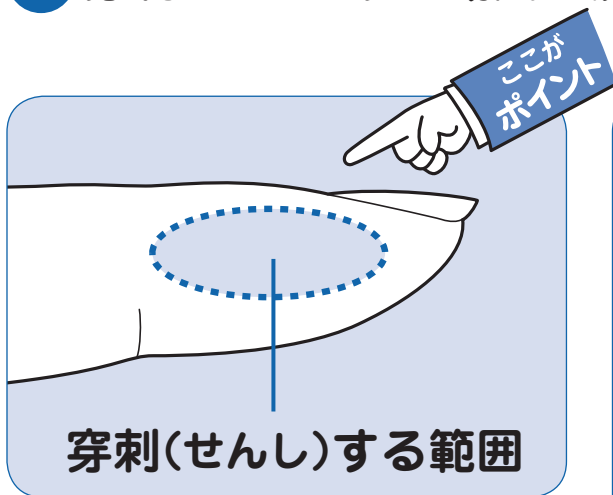
⚠注意

●キャップをはずした針は、すぐ使用してください。

③ 穿刺(せんし)する場所を決める

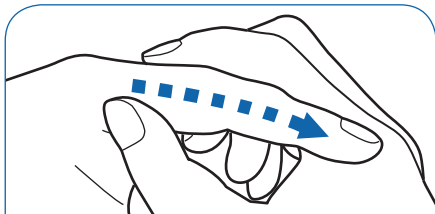
◆穿刺(せんし)する場所は指の側面を選んでください。

◆左右どちらの手でも、どの指でも測定できます。

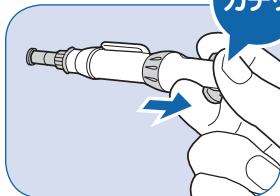
◆測定のたびに、穿刺(せんし)する場所を変えてください。同じ場所を繰り返し穿刺すると、皮膚がかたくなることがあります。

⚠警告

●低血糖が疑われる場合は、指先(てのひらも可)から採血してください。この部分以外の部位(前腕部、上腕部など)から採血した場合は、測定した部位により測定値に差が生じることがあります。

使いかた

④ 指をマッサージする

血液を出やすくするため、手を心臓よりも下におろし、指のつけねから指先に向かってマッサージしてください。
指を温めると、血液が出やすくなります。

誤ってプッシュボタンを押してしまったら…

誤ってプッシュボタンを押してしまうと、もういちど押しても、針は出ません。

針を取りつけたまま、
青いレバーを『カチッ』と音がするまで、
一杯に引いてください。
穿刺(せんし)できるようになります。

⚠注意

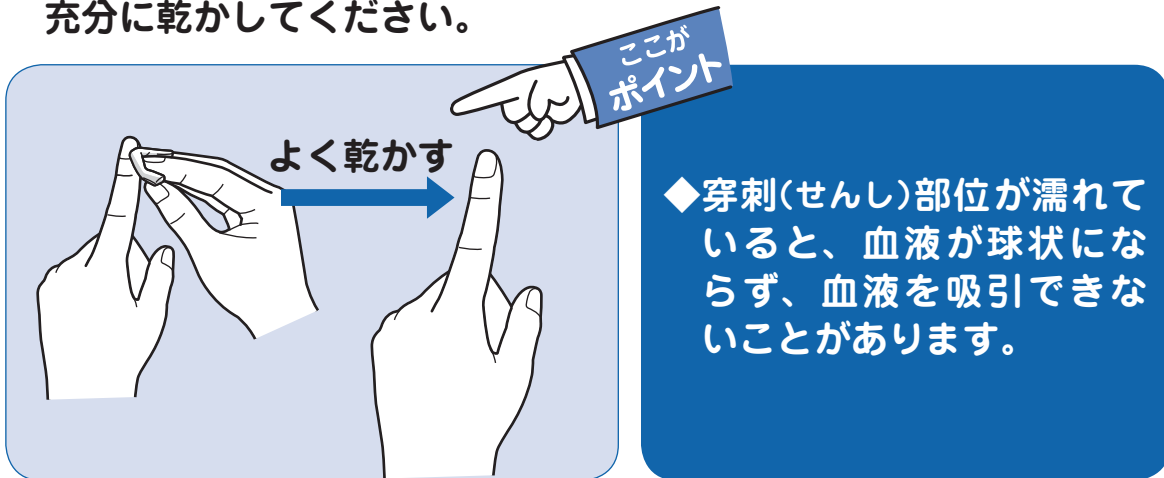
● 未使用でも、いちどはずした針は使用できません。

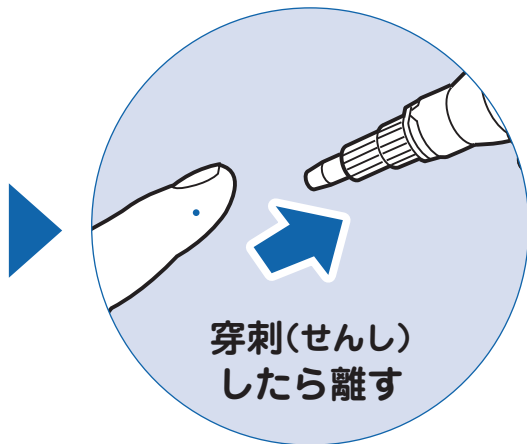
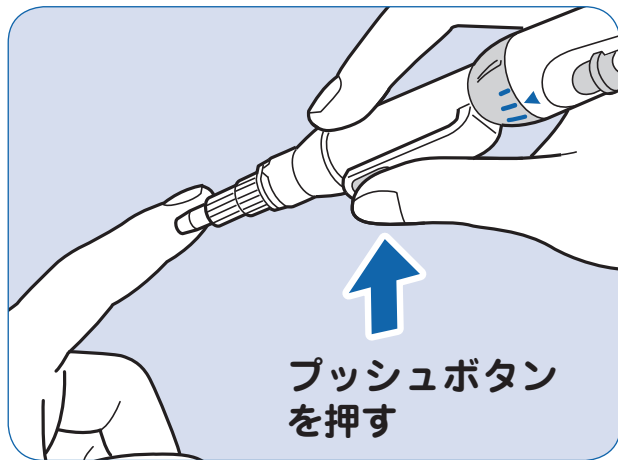
5 アルコール綿などで消毒する

●測定する指(穿刺(せんし)する指)をアルコール綿などで消毒し、充分に乾かしてください。

◆穿刺(せんし)部位が濡れていると、血液が球状にならず、血液を吸引できないことがあります。

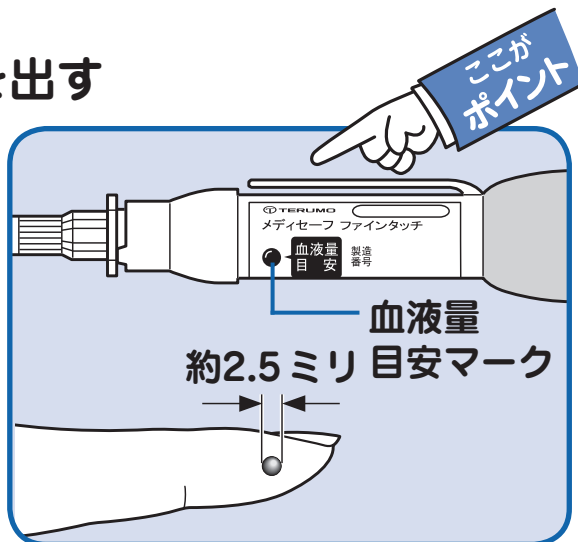
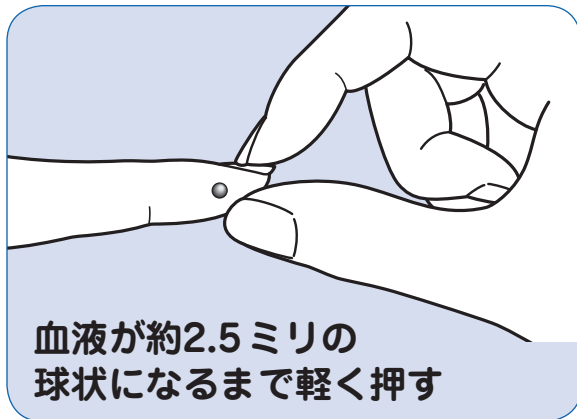
使いかた

⚠警告

●採血の前には、必ず穿刺(せんし)する部位をアルコール綿などで消毒してください。感染の原因となります。

6 針を指先に当てたまま、プッシュボタンを押す

プッシュボタンを押すと、瞬間的に針先が指を穿刺(せんし)します(軽い痛みを感じます)。

⚠禁忌・禁止

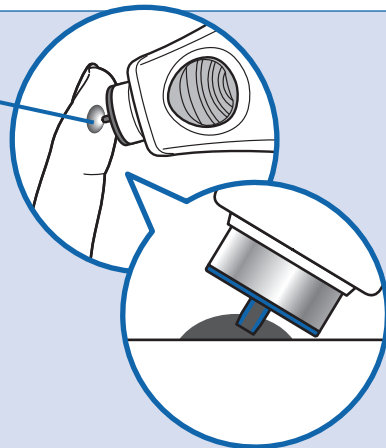
- いちど使用した針は絶対に再使用しないでください。感染の原因となります。

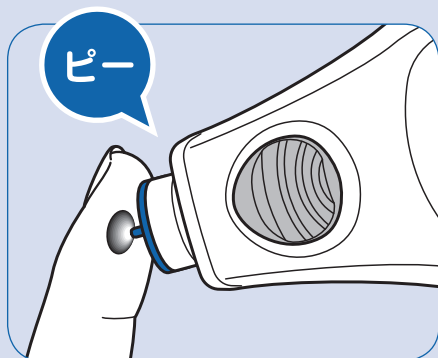
7 指先を軽く押して血液を出す

◆穿刺(せんし)ペン側面の血液量目安マークを参考にしてください。
◆血液が流れないよう、穿刺した場所を上に向けてください。
◆血液は空気に触れるとすぐに凝固しはじめます。必要な量の血液が出たら、すぐに測定に進んでください。
◆穿刺(せんし)部位が濡れていると、血液が球状にならず、血液の吸引ができないことがあります。

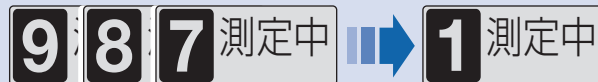
血糖計を使います
測定する

① 「OK」(オーケー表示)の点灯を確かめる

何も表示されていないときは、[電源]を押し、「OK」(オーケー表示)が点灯するまで待ってください。

② 測定用チップの先端から血液を吸引する

◆測定用チップの先端を皮膚に軽くつけます。

血液が自動的に吸引される

『ピー』と音が鳴ったら、先端をすみやかに血液から離す。

3 測定完了までの秒数が表示される

数字が減っていく

血糖計を静かに置いて、お待ちください。正しく測定できないことがあります。

穿刺(せんし)した指先は、ティッシュペーパーなどでふき、清潔に保ってください。

⚠警告

- 採血後は、必ず絆創膏などで止血してください。感染の原因となります。
- 血液や血液がついた器具、ティッシュペーパーなどは、他の人が触れないようにしてください。血液を介して感染する原因になります。

④『ピー』と鳴って測定値が表示される

ピー

100 3月27日 16時11分

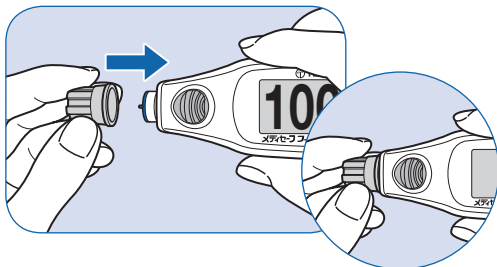
これで測定完了!

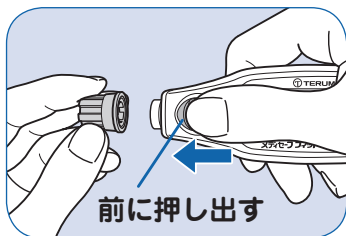
測定値は500回まで自動的に記憶されます。過去の測定値を見る方法は、34ページをご覧ください。
食後マークも、測定値と一緒に記憶されます。
測定値以外が表示されるときは、43～48ページをご覧ください。

⑤測定値をノートに記録する

自己管理ノートなどに結果を記録しましょう。

測定値をもとにした判断は、自分でせず、**医師に相談**しましょう。

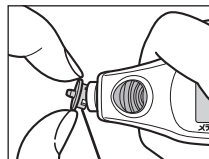
ステップ 5 かたづける

❶ 空のチップケースをかぶせる

❷ イジェクターを前に押し出して測定用チップをはずす

⚠注意

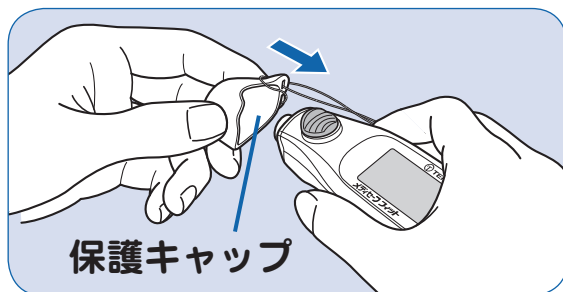
- 必ず空のチップケースをかぶせてください。空のチップケースをかぶせないと測定用チップや血液が飛び出すことがあります。
- 測定用チップを直接手ではずさないでください。測定用チップが破損して血糖計のチップ装着部に残留し、新しい測定用チップをセットできなくなる、もしくは正しく測定できなくなることがあります。

直接手ではずさない

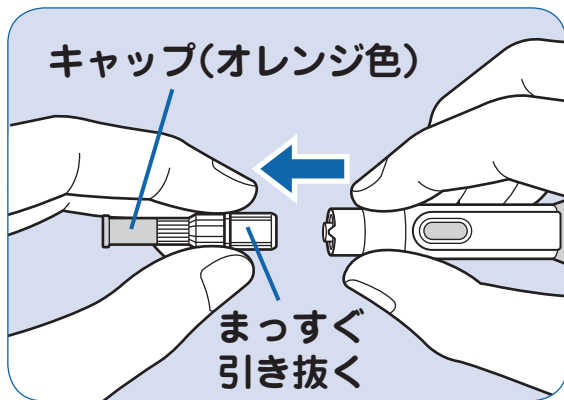
- 破損片が残留した場合は、血糖計を軽く振るか、チップ装着部を下に向けて指で軽くはじいて取り除いてください。尖がったものを使用して取り除くと、血糖計が傷つきイジェクターが固くなることがあります。

※それでも取り除けない場合は、弊社担当者もしくはテルモ・コールセンターにご連絡ください。

③ 電源を切る

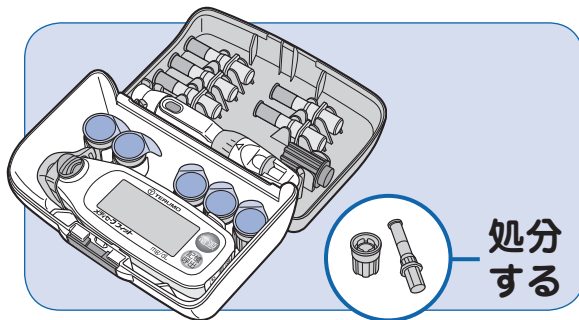
- 表示が消えているときは、この操作は不要です。
- 何も操作しないと2分後に『ピッピッピッピッピー』と鳴って、自動的に電源が切れます。(「OK」(オーケー表示)が点灯している場合は5分後)

④ 血糖計に保護キャップをかぶせる

⚠注意

- 保護キャップをかぶせないと汚れやホコリがつき、正常な測定ができないことがあります。

5 必ず針にキャップをかぶせてからはずす

⚠禁忌・禁止

- いちど使用した針は、絶対に再使用しないでください。感染の原因になります。
- 穿刺(せんし)ペンを保管するときは、針をはずしてください。穿刺の深さの調節が、正常に行えなくなることがあります。

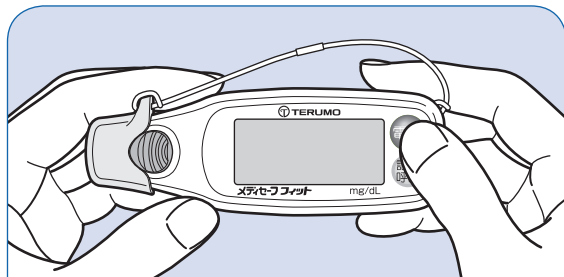
6 血糖計と穿刺(せんし)ペンを携帯ケースに戻す

使用済みの測定用チップと針は、病院や医師の指示に従って処分してください。

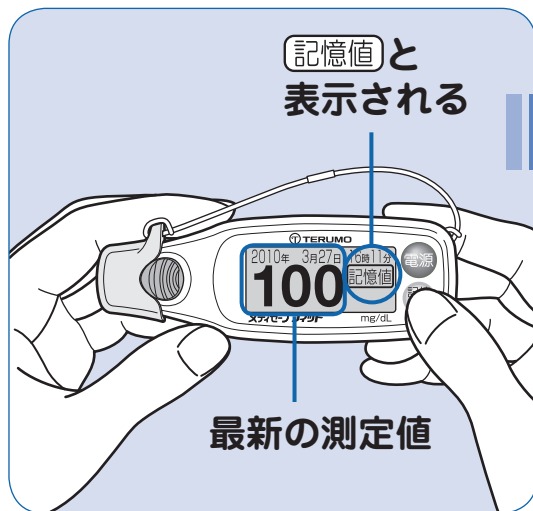
⚠注意

- 使用済みの測定用チップと針を一般のゴミと一緒にしないでください。血液が付着しているため、事故や感染のおそれがあります。

過去の測定値を確認する

この血糖計は、過去の測定値を最大500回まで記憶しています。測定値を記録し忘れたときなどに便利です。

① 電源が入っていないときは、[電源]を押す

◆「OK」(オーケー表示)が点灯しているときは、過去の測定値を表示することができません。測定用チップをはずした状態で操作してください。

② [記憶呼出]を押す

さらに測定記憶を見るには

- 続けて[記憶呼出]を押すと、さらに以前の測定値が表示されます。
- 一番古い記憶に戻ると、『ピー』と鳴り、「記憶値呼出終了」が点灯してから、「チップをつける」画面に戻ります。もういちど[記憶呼出]を押せば、一番新しい測定値が表示されます。
- [記憶呼出]を押したままにすると、表示が早送りされます。

- 501回以上測定したときは、一番古い記憶から消されて新しい測定値が記憶されます。
- 電池を取りはずしても、過去の測定値が消えることはありません。
- 測定結果が20mg/dLより低い場合は、「20未満」、600mg/dLより高い場合は、「600超」として記憶されます。
- 2分間操作しないと自動的に電源が切れます。

食後マークの使いかた

**本品は、食後に血糖測定したときに[食後]を押すことにより、測定値とともに食後マークを記憶させることができます。これにより、後で記憶値を表示させるとき、食後マークも一緒に表示されますので、記憶値を整理する場合などに便利です。
食後マークは、測定前または測定後に表示させて、記憶させることができます。**

食後マークをつける

測定前、測定用チップを血糖計の先に押し込んで、「OK」が表示されているときに[食後]を押します。

[食後]ボタン

測定後に食後マークをつけるには

測定結果が表示されているときに、[食後]を押します。

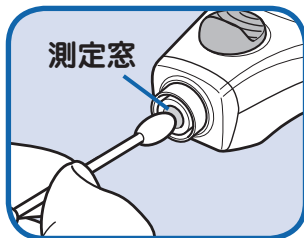
100 3月27日 18時11分 〈食後〉

※測定終了後、測定値表示から、次の操作を行うと記憶内容が確定し、食後マークの変更はできなくなります。

◆食後マークを間違えてつけてしまった場合は、次の操作を行う前に[食後]を１秒以上押すと、マークを消すことができます。

お手入れ方法

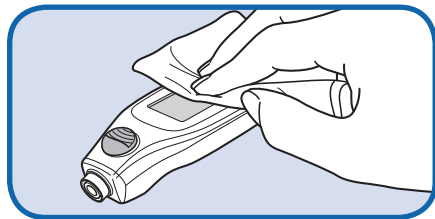
測定窓のお手入れ

血糖計の測定窓(ガラス窓)に、汚れ、ホコリがついていると、「測定窓汚れ」や「測定できません」が表示され、測定できません。
新しい綿棒(ベビー用)に少量の水を含ませて測定窓(ガラス窓)の汚れ、ホコリをふき取ってください。清掃後は、60ページをご覧になり、「テスト用チップ(黒)での汚れチェック」を行ってください。

⚠注意

- 測定窓には、シンナーやベンジン、アルコールは使用しないでください。
- 硬いものでふかないでください。測定窓のガラスに傷がつき、正しく測定できなくなります。

血糖計本体のお手入れ

血糖計が汚れたり、チップ装着部に血液などがついたときは、少量の水や消毒用のアルコールを含ませた布やティッシュペーパーなどでふき取ってください。携帯ケースも清潔を保ってください。

⚠注意

- 本体には、シンナーやベンジンは使用しないでください。
- 血糖計本体は防水ではないため、布やティッシュペーパーなどの水分はよく絞ってから使用してください。

保守・点検

保守・点検時には、外観に汚れや破損等がないこと、表示部がすべて点灯(全灯)することを確認してください。

項目	頻度	内容
外観	毎回	汚れ、破損等
液晶点検	毎回	全灯時の欠けがないこと
自動点検	毎回	測定用チップ装着後、「OK」(オーケー表示)が点灯すること

通常測定時の自動点検機能について

血糖計は通常の測定時に、毎回自動点検を行っています。
測定用チップ装着後 「OK」(オーケー表示)が点灯すれば、血糖計は正常です。それ以外が表示されたときには、「表示ごとの対処方法」(43～48ページ)をご覧ください。

保管方法

血糖計、測定用チップ、穿刺(せんし)ペン、針については、水濡れに注意して、直射日光や高温多湿の場所には保管しないでください。

血糖計の保管	● チップ装着部は、いつも清潔にしておいてください。 保管環境/周囲温度：－10～50℃　相対湿度：30～95%（ただし結露しないこと）
測定用チップの保管	● 室温(1～30℃)で保存してください。
穿刺(せんし)ペンの保管	● 針を取りつけたまま保管しないでください。穿刺(せんし)の深さの調節が正常に行えなくなる場合があります。

保管について詳しくは、各製品の添付文書をご覧ください。

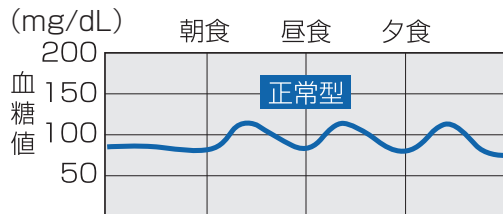
血糖値あれこれ

Q どんなときに血糖値が上下するの？

➔ 血糖値は時々刻々と変化しています。

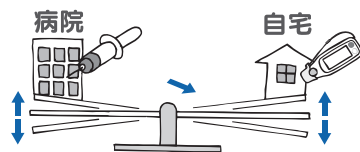
●食物中の糖分は腸で吸収され、血液の中に入って全身に運ばれ、エネルギー源として利用されます。したがって食事をすると血糖値は高くなり、時間がたつと筋肉をはじめ全身の細胞の中で消費されて血糖値は低くなります。はげしい運動をするとお腹がすくのは、血糖値が低くなったからです。

●血糖値は食事や運動のほかに、体調や心の状態などでも変動します。
目標とする血糖値については、医師に相談してください。

●監修（40～41ページ）　東京女子医科大学糖尿病センター　教授　内潟安子先生

病院で測ったときと血糖値が違うけれど？

➔ 次のような原因が考えられます。

●測定時刻が違う

血圧と同じく血糖値も刻々と変化します。
これは、体を動かせば糖分が消費され、食事をすれば糖分が吸収されるように、血液中のブドウ糖の量が時々刻々と変化しているためです。

●採血した部位が違う

血液は心臓から動脈を通って全身の毛細血管に達し、各組織にブドウ糖などの栄養をあたえ、静脈を通って戻ります。採血するのは指先の毛細血管ですから、ちょうどブドウ糖が組織に配られている場所です。これに対して腕などから採血する静脈血は、ブドウ糖が消費された後の血液です。
したがって、病院で腕から採血した値と、指先の値は異なります。

困ったときには

いつもと違う表示が出たときの対処方法などを説明します。
該当のページに進んでください。

表示ごとの対処方法

次のような表示が出たときは、対処方法の説明に従ってください。

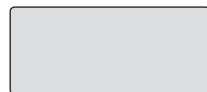
表示	原因	対処方法	関連ページ
測定できません ・ﾁｯﾌﾟを正しく装着 ・測定窓を拭く	●測定用チップが斜めに入っている。	血液を吸引する前の場合、奥までしっかり測定用チップを押し込んでください。	19 20
	●測定用チップの押し込みが浅い。	測定用チップに血液がついてしまったときは、新しい測定用チップと交換して、測定し直してください。	17
	使用済みの測定用チップがついている。	新しい測定用チップと交換して、測定し直してください。	17
	血糖計の測定窓に汚れ、ホコリがついている。	綿棒などで測定窓（ガラス窓）をふいて、再度新しい測定用チップと交換して、測定し直してください。	17 37
測定窓の汚れ 測定窓の汚れを拭く	血糖計の測定窓に汚れ、ホコリがついている可能性があります。	測定用チップをはずして測定窓を点検してください。汚れがなければ表示が消えます。表示が消えない場合は、綿棒などで測定窓をふいてください。 清掃後は、テスト用チップ（黒）で汚れチェックを行ってください。	37 60

表示	原因	対処方法	関連ページ
測定エラー 血液量を確認/チップ開封後すぐに再測定	●測定用チップに吸引させた血液量が少ない。 ●測定用チップに十分量の血液を吸引させる前に、本体に振動が加わり測定が開始された。 ●血液を２度付けした。	新しい測定用チップと交換し、適量(約2.5ミリの球状)の血液を吸引させて再測定してください。	17 49
	●測定対象が血液以外(水等)であった。	測定対象が血液である(血液以外の物質が混入していない)ことを確認してください。	
	開封して時間が経っている測定用チップを使用した。	新しい測定用チップを開封し、直ちに使用して測定してください。	
	使用期限の過ぎた測定用チップで測定した。	使用期限内のチップと交換し、再測定してください。	
測定エラー テルモコールセンターに連絡してください	２回続けて測定エラーとなった。	病院またはテルモ・コールセンターにご連絡ください。	17 49
	ヘマトクリット値が60%を超える血液や20%を下回る血液では測定値が表示されない場合があります。		

表示	原因	対処方法	関連ページ
周囲が明るすぎる 明かりを避けて測定	まわりが明るすぎて測定できない。	測定用チップがついていない場合は、測定用チップをつけてください。	17
		測定用チップがついている場合は、測定用チップを暗いほうへ向けるか、直射日光の当たらない場所に移動すると、この表示が消えます。	−
		測定用チップに血液がついていない場合は、この表示が消えるのを確かめて、測定を続けてください。	−
		測定用チップに血液がついてしまったときは、新しい測定用チップと交換して、測定し直してください。	17
周囲が明るすぎる チップを交換して 明かりを避けて測定	まわりが明るすぎて測定できなかった。	新しい測定用チップと交換した後、測定用チップを暗いほうに向けるか、直射日光や強い電灯光の当たらない場所に移動して、測定し直してください。	17
	測定中に測定用チップがはずれた。	新しい測定用チップと交換して、測定し直してください。	17

表示	原因	対処方法	関連ページ
チップ外れ チップ交換し再測定	測定中に測定用チップがはずれた。	新しい測定用チップと交換して、測定し直してください。	17
周囲の温度が高い 5-40℃の場所でエラーが出なくなるまで待つ 周囲の温度が低い 5-40℃の場所でエラーが出なくなるまで待つ	適温(5～40℃)以外の場所で測定しようとした。	携帯ケースから取り出し、適温の場所に移動後20分ほど置いて、表示が消えてから測定し直してください。	2
値が600より高い すぐに再測定	血糖値が600mg/dLより高い。	新しい測定用チップと交換して、測定し直してください。	17
値が600より高い すぐに医師に相談	600mg/dLより高い血糖値が2回続けて測定された。	「すぐに医師に相談」表示が出たら、かかりつけの医師に相談してください。	－
値が20より低い すぐに再測定	血糖値が20mg/dLより低い。	新しい測定用チップと交換して、測定し直してください。	17
値が20より低い すぐに医師に相談	20mg/dLより低い血糖値が2回続けて測定された。	「すぐに医師に相談」表示が出たら、かかりつけの医師に相談してください。	－

表示	原因	対処方法	関連ページ
装置故障 テルモコールセンターに 連絡してください	故障した。	病院またはテルモ・コールセンターにご連絡ください。	ー
電池不足 早めに電池を交換 (CR2032　2個)	電池がなくなりかけている。	この状態でも測定できますが、できるだけ早めに電池(リチウム電池CR2032)を2個とも新しいものと交換してください。	54
電池切れ 電池を交換 (CR2032　2個)	電池がなくなっている。	測定できません。ただちに電池(リチウム電池CR2032)を2個とも新しいものと交換してください。	54
100　3月27日　16時11分 電源が切れない	電源ボタンを押す時間が短い。	電源ボタンを1秒間以上押してください。(何も操作しなくても自動的に電源が切れます)	32
何も表示されない	[電源]ボタンを押していない。	[電源]ボタンを押してください。 [電源]ボタンを押しても表示が出ない場合は、血糖計本体をリセットしてください。	17 59

表示	原因	対処方法	関連ページ
何も表示されない	電池の入れかたが間違っている。	電池を正しく入れ直してください。	54
	電池がなくなっている。	測定できません。ただちに電池を2個とも新しい電池(リチウム電池CR2032)と交換してください。	54
	種類の違う電池を使っている。	電池を2個とも新しい電池(リチウム電池CR2032)と交換してください。	54
		それでも表示が出ない場合は、病院またはテルモ・コールセンターにご連絡ください。	−
表示が消えてしまった	なにも操作しないで2分間たった(表示に「OK」が出ていなかった場合)	故障ではありません。再度[電源]ボタンを押してください。	17
	なにも操作しないで5分間たった(表示に「OK」が出ていた場合)	故障ではありません。再度[電源]ボタンを押してください。	17
時間設定 2010年	時間設定モードになっている。	[時間設定]を押して、設定を完了させてください。	55～57

測りかたで血糖値が変わることがあります

次のような場合には、正しい測定ができない、あるいはエラーが表示されることがあります。

測定用チップの先端を離すタイミングが早い、または遅い

1. 『ピー』と鳴る前に測定用チップ先端を血液から離すと、正しく測定できないことがあります。
2. 『ピー』と鳴った後、測定用チップ先端を血液に長く当て続けると、正しく測定できないことがあります。

血液を出してから時間がたった

血液は、空気に触れるとすぐに凝固しはじめます。凝固が進んだ血液では、正しく測定できないことがあります。できるだけ早く血糖計で吸引してください。また、測定し直すときは、穿刺(せんし)した指先の血液をふき取り、最初からやり直してください。

吸引しても測定がはじまらず、血液を付け足した

吸引中、測定用チップを血液から離し、再度血液を吸引すると、その途中で空気が測定用チップの中に入り正しく測定できないことがあります。新しい測定用チップと交換して、血液を適量(約2.5ミリの球状)出し、1回で吸引して測定してください。

血液がなかなか出ず、無理やり押し出した

無理やり押し出すと、組織液の混入により、正しく測定できないことがあります。このようなときは、21ページをご覧になり、穿刺(せんし)の深さを調節してください。

測定用チップのフィルムシールをはがしてから、時間がたった

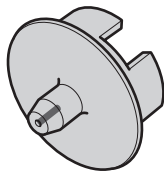
測定用チップのフィルムシールをはがしてから時間がたつと、測定用チップ内の試験紙が湿気をおびて、測定値が低くなることがあります。フィルムシールをはがしたら、すぐに血糖計へ装着して測定をはじめてください。

血液を吸引しても「OK」(オーケー表示)のままのとき

血液の量が少ないことが原因です。

- 指先の血液をふき取り、新しい測定用チップをつけて最初から測定し直してください。
- 再び穿刺(せんし)した後、血液を約2.5ミリの球状にしてから吸引してください。

×

血液量が少ない

血液が測定用チップ内の試験紙まで届いていない

○

血液量が充分

ここがポイント

血液が測定用チップ内の試験紙まで広がっている

◆「OK」(オーケー表示)のままのとき、たたいたり、ゆすったりして、無理に測定を開始しないでください。正しい測定値が得られないことがあります。

測定値の消しかた

記憶された測定値をすべて消す

- 全部の記憶がいちどに消去されます。
- ひとつひとつの測定値を個別に消去することはできません。
- いちど消去した測定値を元に戻すことはできません。

❶ 電源が切れた状態から、[時間設定]と[記憶呼出]を同時に押したまま[電源]を押して電源を入れる。

その他

❷ 約1秒後、「測定値全消去」表示が点灯したら、すべてのボタンから指を離す。

測定値全消去
すべての測定値を 消去しました

約2秒後、「測定値全消去」表示が消え、全部の記憶が消去されます。

電池交換のしかた

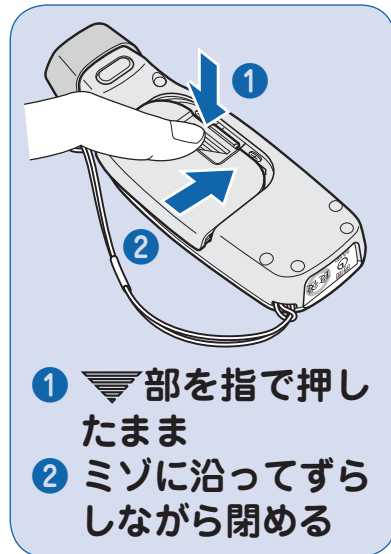
Ⅰ 電池を入れ替える

❶ ▽部を指で押しながら、蓋を開け使用済み電池をはずす

❷ 新しい電池(リチウム電池CR2032)は2個とも⊕面を上に向ける

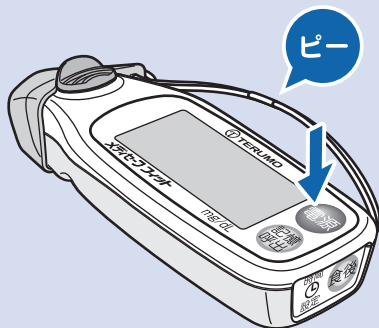
Ⅱ 蓋を閉じる

❶ ▽部を指で押したまま

❷ ミゾに沿ってずらしながら閉める

● 新しい電池で約1,000回または1年間使用できます。

● 交換用の電池(リチウム電池CR2032)は、電器店、コンビニエンス・ストアなどでお買い求めください。

日付と時刻の合わせかた

1 ［電源］を押す

保護キャップをつけたまま

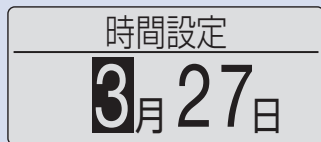
月日と時刻が表示されます。

次ページへつづく

その他

❷ [時間設定]を押す

❸ 数字を合わせる

❹ 西暦を合わせてから［時間設定］を押す

［時間設定］を押すと月日の表示に変わり、「月」を黒地表示します。

❺ 手順❸と❹を繰り返して、日付と時刻を合わせる

［分］まで合わせます。
［時間設定］を押すと、3秒間、年月日時分が表示されます。
これで設定完了です。

◆必ず「分」まで設定してください。

その他

特殊な使いかた

ブザー(ピー音)を消す

1. 電源が切れた状態から、[時間設定]を押したまま[電源]を押す。

2. [記憶呼出]を押すたびに 入 と 切 が交互に点灯する。

   ブザーを消したいときは 切 、鳴らしたいときは 入 に合わせてください。

3. [時間設定]を押す。

ブザー表示

ブザー設定	
記憶呼出ボタン	入
で切り替え	切

消したいとき

ブザー設定	
記憶呼出ボタン	入
で切り替え	切

鳴らしたいとき

ブザー設定	
記憶呼出ボタン	入
で切り替え	切

血糖計本体のリセット

次の場合は、本体をリセットしてください。

- （電池残量が充分にある状態で）[電源]を押しても、電源が入らない。
- 電源が入っているが、どのボタンを押しても表示が変わらない。

本体のリセットは、電池を５秒間はずしておくと完了です。

リセットしても測定値の記憶は消えません。しかし、血糖計内蔵の時計は電池を抜いている間は停止します。日付・時刻を再度設定してください。

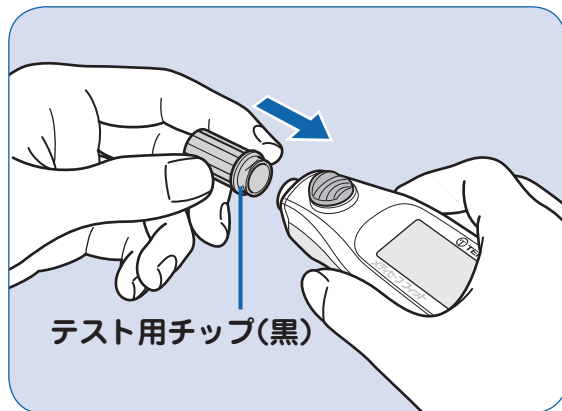
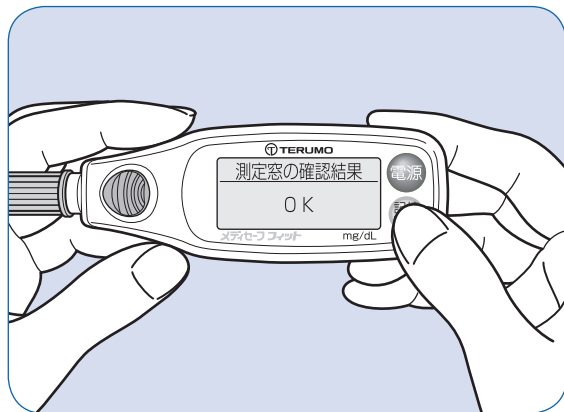
テスト用チップ(黒)での汚れチェック

測定窓の状態確認のために行うチェックです。

テスト用チップは、携帯ケースの蓋の裏側に収納(工場出荷時)されています。(8ページ)

1 電源が切れた状態から、[記憶呼出]を押したまま[電源]を押す。

2 携帯ケースからテスト用チップ(黒)を取り出し、血糖計に取りつける。

その他

❸ もういちど、[記憶呼出]だけを押す。

測定窓の確認結果
ＯＫ

正常な状態です。電源を切って、テスト用チップ(黒)を携帯ケースに戻してから、測定を行ってください。

測定窓の確認結果
汚れています。測定窓を拭いてください

- 測定窓が汚れていることが考えられます。37ページをご覧になり、清掃を行い、再度60ページの①からチェックを行ってください。
- それでも上記の表示が点灯したら、病院またはテルモ・コールセンターにお問い合わせください。

血糖計の仕様

機器の区分	高度管理医療機器　　特定保守管理医療機器
一般的名称	自己検査用グルコース測定器
販 売 名	メディセーフフィット
測 定 範 囲	血糖値20～600mg/dL
使 用 環 境	周囲温度：5℃～40℃　相対湿度：30％～85％（ただし結露なきこと）
電 源	リチウム電池（CR2032）×2
定 格 電 圧	⎓ 6V（⎓ は、直流を示す記号）
消 費 電 力	電源ON時：約100mW　電源OFF時：約100μW
電 池 寿 命	約1000回または1年間使用
記 憶 容 量	最大500回分（自動記憶）
時 計 精 度	±5分/月以内
外 形 寸 法	幅 約108mm、奥行き 約38mm、高さ 約27mm（保護キャップを含まない）
重 量	約50g（電池2個含む）

EMC適合	本品はEMC規格　IEC 61326-1:2005 に適合しております。 CISPRグループ分類およびクラス分類は、グループ1、クラスB。

※製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

製品一覧

品　名	色	包装単位	製品コード
メディセーフフィット	ブルー	1セット	MS-FR201B
	ピンク	1セット	MS-FR201P
メディセーフフィット血糖測定セット※	ブルー	1セット	MS-FKS01

※ メディセーフフィット血糖測定セットにはメディセーフ針(ファインタッチ専用／30本)、メディセーフファインタッチ(1本)、メディセーフフィット(ブルー色：1台)が入っています。
メディセーフフィット血糖測定セットには、MS-FR201P(ピンク色)の設定はありません。

(注) 測定用チップは含まれておりません。血糖測定セットと併せて測定用チップをご購入ください。

<別売品>

測定用チップ	メディセーフフィットチップ	30個	MS-FC030
穿刺(せんし)ペン	メディセーフファインタッチ※	1本	MS-GN02
針	メディセーフ針(ファインタッチ専用)	30本	MS-GN4530

※ メディセーフファインタッチにはメディセーフ針(ファインタッチ専用)をご使用ください。

切り取り線

保証規定

メディセーフフィットの保証期間はお買い上げいただいた日から3年です。正しい使用状態で、この期間内に万一故障が生じた場合には、保証書の記載事項にもとづき無償修理いたします。期間内でも保証書がない場合は有償修理になります。

(1) 保証期間は、お買い上げ後3年間です。
(2) ご使用中、故障が発生した場合はお買い上げの販売店またはテルモ・コールセンターにお問い合わせください。
(3) ただし、下記の場合は保証期間中でも有償になります。
　イ．ご使用上で取扱いの過誤により発生した故障。
　ロ．本品の改造、不当な修理により発生した故障。
　ハ．火災、地震、水害等天災地変などの不可抗力による故障および損害。
　ニ．故障の原因が本品以外に起因する場合。
　ホ．消耗部品
　ヘ．保証書のご提示がない場合。
(4) 保証書は再発行いたしません。大切に保存してください。
(5) 本保証書は日本国内においてのみ有効です。

◆お問い合わせ先

品質保証書

この度は、本品をお買い上げいただきましてありがとうございます。品質には万全を期しておりますが、通常の使用において、万一故障が発生しましたときは保証規定により無償修理いたします。

製品名：メディセーフフィット
お名前
ご住所　〒□□□-□□□□ TEL:　　　（　　　　）

お買い上げ販売店名　　　　　　　　　　㊞
担当者名
お買い上げ年月日　　　年　　月　　日

製造販売業者：テルモ株式会社
〒151-0072　東京都渋谷区幡ヶ谷2丁目44番1号

切り取り線

この血糖計は、メディセーフフィットです。
血糖測定システム メディセーフに関するお問い合わせは

お問い合わせの前に

- ●測定に必要なものをお手元に用意してください。
- ●次のことをあらかじめ確認してください。
- • 血糖計の製造番号（血糖計裏面に記載）：
  シリアル番号（血糖計裏面に記載）：
- • 測定用チップの製造番号／使用期限：
  （測定用チップの箱に記載）

テルモホームページアドレス　http://www.terumo.co.jp/

高度管理医療機器　特定保守管理医療機器
一般的名称　　　：自己検査用グルコース測定器　販売名：メディセーフフィット
製造販売業者　　：テルモ株式会社　東京都渋谷区幡ヶ谷2丁目44番1号
医療機器承認番号：22100BZX00858